

## 2022年度 山形県立博物館特別展開催要項

### 発掘30周年・マムログワクジラ、新生代の海を泳ぐ～やまがた北部の古生物～

主催 山形県立博物館 後援 真室川町教育委員会

- 1 会期 2022年6月4日（土）～8月28日（日）
- 2 会場 山形県立博物館 第3展示室（特別展示室）
- 3 本展のねらい

#### 発掘30周年のマムログワクジラの全化石を公開

「マムログワクジラ」とは、山形県真室川町大沢から発掘された600万年前の鯨類化石で、大型ヒゲ鯨類を中心とする複数個体の集合体です。1992年より予備発掘を開始し、重機を使った大規模な発掘を1993年と1994年に実施し、大型のヒゲ鯨をはじめ多数の骨格化石を収集して研究を進めました。同時に新庄盆地北部の地質や年代調査を実施して多く成果を上げました。

今年は発掘から30周年を迎えることから、マムログワクジラの全化石を公開し、その後の研究を加えて化石について、より理解を深めるねらいから本展が企画されました。マムログワクジラとともに、発掘時に産出した貝類、サメ、鰭脚類などの化石の展示や、新庄盆地のさまざまな化石を紹介しながら、やまがた北部の古環境についても考察します。また、東北地方の代表的な鯨化石や興味深い現生の鯨の骨格標本を比較展示して、鯨の古生物学や進化についても理解を深めようとするものです。

#### 4 展示構成と主な展示資料

##### テーマⅠ「マムログワクジラ発掘される」

マムログワクジラの発掘時の骨の産出状態を再現します。そして、どのように化石が埋もれたのかを考察します。また、産出化石の部位や鯨の種類について解説します。それらの理解のために、現生の鯨の骨格標本等を比較展示します。

**展示資料** マムログワクジラ（ヒゲ鯨大型下顎骨、前上顎骨、脊椎骨、上腕骨、肩甲骨、とう骨、尺骨、肋骨、V字骨、指骨、胸骨、鼓室胞、など）。鯨とともに発掘された貝、鰭脚類、サメ化石。比較標本として現生鯨の骨格標本。

**トピック展示1**「サメは鯨を攻撃したのか」発掘現場で産出したサメ類化石を展示。

**トピック展示2**「ツキガイモドキは鯨骨生物群集か？」鯨骨格の直上から発見された貝類化石を展示。

##### テーマⅡ「やまがた北部の古生物」

新庄盆地を中心とする山形県北部からは、鯨化石が多く産出しています。その中の興味深い化石を展示します。またこの地域からは、海牛、鰭脚類、サメの歯、単体サンゴ、貝化石など、さまざまな化石が産出しています。それらの化石を紹介しながら新庄盆地周辺の古環境を探ります。

#### 展示資料

- ① **脊椎動物** 歯鯨頭骨（戸沢村教育委員会所蔵）、真室川町産鯨椎骨（真室川町歴史民俗資料館所蔵）、戸沢村産セミクジラ科下顎骨（個人蔵）、大蔵村産ヒゲ鯨頭骨（本館

蔵)、真室川町産マッコウクジラ科歯(本館蔵)、鰭脚類骨格(本館蔵)、サメの歯(本館蔵)。戸沢村産ヒドロダマリス亜科肋骨(戸沢村教育委員会蔵)、庄内町産ヒドロダマリス亜科肋骨(山形古生物研究会蔵)。戸沢村産鰭脚類頭骨(本館蔵)、など。

トピック展示3「新庄と庄内を泳いだ海牛たち」戸沢村と庄内町の海牛肋骨を紹介。

トピック展示4「新庄の海のアシカの化石」山形では産出が稀な鰭脚類化石を紹介。

② 新庄盆地の貝化石 金山層貝化石、青沢層貝化石(山形古生物研究会蔵)、古口層貝化石(山形古生物研究会蔵)、野口層貝化石、中渡層貝化石、単体サンゴ(山形古生物研究会蔵)、ノジュールと貝化石(山形古生物研究会蔵)など。

トピック展示5「新庄の海と単体サンゴ」真室川町発見の単体サンゴ類化石を紹介。

トピック展示6「卵のような石の中の化石」ノジュールの形成と化石を紹介。

### テーマⅢ 新生代東北地方の鯨類化石

東北地方からは、さまざまな鯨化石が発見されており、国内でも鯨化石の多産地域です。広域的に見ると、東北地方は北太平洋地域の重要な鯨化石産地でもあります。こうした東北のいくつかの重要な鯨化石を紹介します。また、現生鯨の中でも興味深い標本を展示して、多様な鯨の進化について理解を深めます。

**展示資料** 現生キタトックリクジラ、マッコウクジラなど(国立科学博物館蔵)、ケトテリウム科化石産状(東北大学総合学術博物館)、マエサワクジラ、ミズホクジラ(岩手県立博物館蔵)、男鹿半島産鯨類化石(秋田県立博物館蔵)、フタバクジラ、オオクマクジラ(福島県立博物館蔵)ほか。

トピック展示7「多様に進化した鯨類」多様に進化した鯨類の中でも、さらに変わった形態をもつ現生鯨類の頭骨標本等(キタトックリ、マッコウ、コマッコウ、など)を展示して鯨類進化の多様性を探る。

## 5 関連行事

(1) 記念講演会 3回(各回とも13:30~15:00、演題は予定)

① 6月18日(土)「日本における2つの新種大型鯨類の発見と研究」山田 格  
(やまだただす) 国立科学博物館名誉研究員

② 7月16日(土)「真室川町の地質とマムログワクジラの古環境」川邊 孝幸  
(かわべたかゆき) 山形大学名誉教授

③ 8月20日(土)「マムログワクジラと山形の古生物」長澤 一雄(本館学芸員)

(2) 展示解説会 3回(①11:00~11:30 ②③13:30~14:00、担当長澤)

① 6月4日(土) ② 7月2日(土) ③ 8月6日(土)

(3) 「真室川町小中学校・マムログワクジラ自由画展」 8月3日(水)~8月28日(日)

## 6 広報関係

(1) ポスター、チラシの配布 (2) マスコミへの広報依頼 (3) リーフレット(観覧用)

## 7 主な展示協力機関(50音順)

秋田県立博物館、岩手県立博物館、国立科学博物館、東北大学総合学術博物館、戸沢村教育委員会、福島県立博物館、双葉町教育委員会、真室川町教育委員会、山形応用地質研究会、山形古生物研究会